

閉鎖性海域における環境創生プロジェクト

事業総括

飯田 俊司 (株)百五銀行取締役会長

研究統括

加藤 忠哉 三重大学名誉教授

新技術エージェント

松田 治 広島大学名誉教授

中核機関

(財)三重県産業支援センター

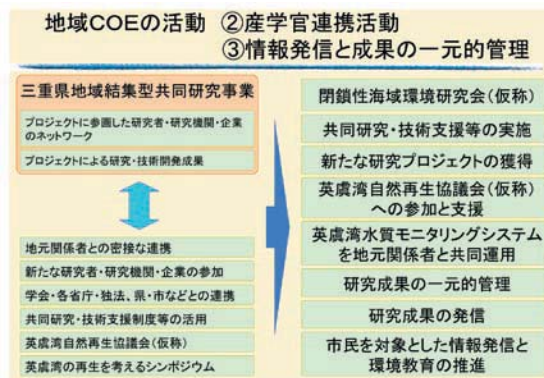
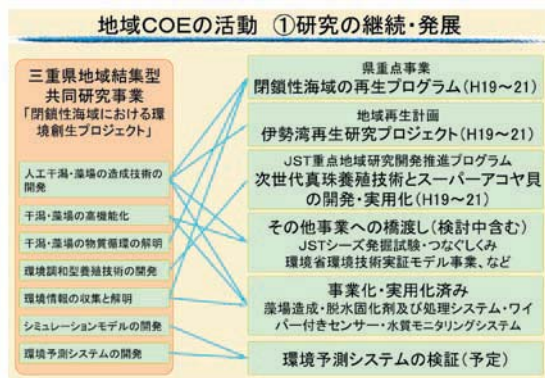
行政担当部署

三重県農水商工部

コア研究室

三重県志摩庁舎内

地域COEの構築への取り組み



新技術・新産業創出の取り組み

1. 凝集固化剤「アゴクリン」の開発

紙の製紙過程で発生するかす(ペーパースラッジ)の焼却灰を主原料とした凝集固化剤「アゴクリン」を開発しました。

この固化剤は英虞湾底泥の処理だけでなく、河川改修時の濁水処理、食品加工場の廃水処理など多方面への展開を図っています。



凝集固化剤アゴクリン

2. (株)あの津技研及び東紀州環境システム有限責任事業組合の設立

上記固化剤「アゴクリン」の開発・販売を目的として、平成17年9月に(株)あの津技研が設立されました。また、あの津技研(株)を中心とした4社を組合員とする、東紀州環境システム有限責任事業組合が、上記固化剤の製造を目的として平成18年5月に設立されました。

3. 英虞湾自動モニタリングシステムの開発

英虞湾内に観測ブイを設置し、水質(水温、塩分、溶存酸素、濁度、クロロフィル)を1時間ごとに1回、海面から海底まで1m間隔で自動測定します。これらの観測結果はホームページで即時公開され、多くの真珠養殖業者に利用されています。



湾口モニタリングブイ